

平成 30 年 11 月 15 日

各 位

株式会社 北海道銀行

**第 1 期 M I R A I N C プロジェクトの開催結果報告**  
 ～ D C M ホーマックが本プロジェクトから生まれたアイデアを一部採用いたします～

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）では、大学生の未来創造ラボ「ヨノナカテラス」の第 1 弾として「第 1 期 M I R A I N C（ミラインク）プロジェクト」を開催しましたので、結果概要をお知らせいたします。

記

1. 開催目的

- (1) 社会・ビジネスの現場における当事者として、自ら課題を発見し、解決していく考え方・視点をもつ人材（大学生）の育成に貢献すること。
- (2) 大学生が異なる業種に属する道内有力企業各社との交流を通じて、道内企業の“魅力”“働きがい”を体験すること。
- (3) 大学生の柔軟なアイデア・新鮮な意見をふまえ、課題の解決策を検討することで、参加企業側において自社の課題をブラッシュアップするきっかけとすること。

2. 開催概要

- ・第 1 期では、「カラカミ観光」「きのとや」「セコマ」「DCMホーマック」と当行の計 5 社と、道内・外の四年制大学生計 39 人（2020 年 3 月以降の卒業予定者）が参加しました。
- ・「北海道胆振東部地震」の影響によりプロジェクトを一時中断しましたが、10 月 3 日の最終日（ピッチコンテスト）では、参加学生による熱意のこもったビジネスプランが発表されました。

ピッチコンテストにおける各グループ発表要旨

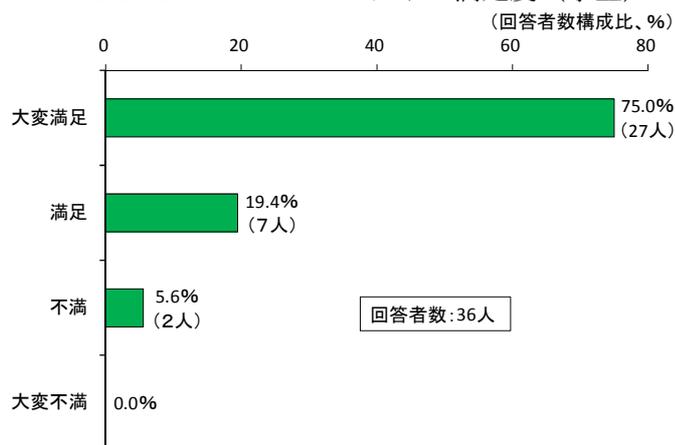
グループ名		ビジネスプラン（発表要旨）
カラカミ観光	もっと北海道が好きになる、魅力たっぷりの北海道観光の姿をカタチにしよう！	<b>定山溪地域で「北海道初、インスタ映えする本格的ナイトプール」・「同地域を楽しみつくすアクティビティツアー」</b> ⇒ 北海道観光が「めんどくさい」と考える若者向けに 2 つの企画を組み合わせ、基本料金一律型の日帰りパッケージツアーを提案。
きのとや	世界へ羽ばたく、「道産素材を活かした洋菓子」をカタチにしよう！	<b>値段が手頃で・日持ちして・お土産にもなる「焼き立てパイ（北パイ）」</b> ⇒ 世界へ羽ばたくためには、地元札幌でのファン層拡大と北海道農業を応援しつつ、道産ブランドを活かしていくという観点が重要と考え、道産じゃがいも・はちみつを主原材料としたお菓子を提案。
セコマ	学内コンビニの S I N K A をカタチにしよう！	<b>「参加型コンビニ」</b> ⇒ 過疎化が進む道内のコンビニが存続するために「コンビニは画一的」という概念を壊す必要がある。そのため、学生主催のイベント企画等を通じて地域と社会そして学生が共存して元気なコミュニティの実現を目指すことを提案。
DCM ホーマック <b>〈一部採用〉</b>	皆さんが思わず立ち寄ってみたくなる近未来型の店舗をカタチにしよう！	<b>各種サービスの待ち時間にも利用できる「都市型カフェ併設店」</b> ⇒ 若者目線では、ホームセンターにあまり関心が持てないため、気軽に足を運んだりホーマックの商品を知る“キッカケ”が必要。また、新たな「D I Y ファン層」を創出するため、「D I Y」を身近に感じられるような仕掛けを盛り込んだカフェの併設を提案。
北海道銀行	「ヨノナカテラス」が地域を元気にするための懸け橋となる仕掛けをカタチにしよう！	<b>「観光スポット動画の発信を通じて、社会人を鍛えるプロジェクト」</b> ⇒ 大学生が主体となり、社会人基礎力の養成に加え、やりたいこと「地域・社会貢献、情報発信（インフルエンサーになる）等」を“カタチ”にできるプロジェクトとして提案。

- ・ピッチコンテストで最優秀賞に輝いたDCMホームマック（以下、同社）へのビジネスプラン（カフェ併設型店舗）の一部が採用されることとなりました\*。
- ・参加学生の約95%が本プロジェクトへの参加経験について「大変満足」「満足」のいずれかを選択回答するなど、学生側でも収穫・発見が多いプロジェクトとなりました。

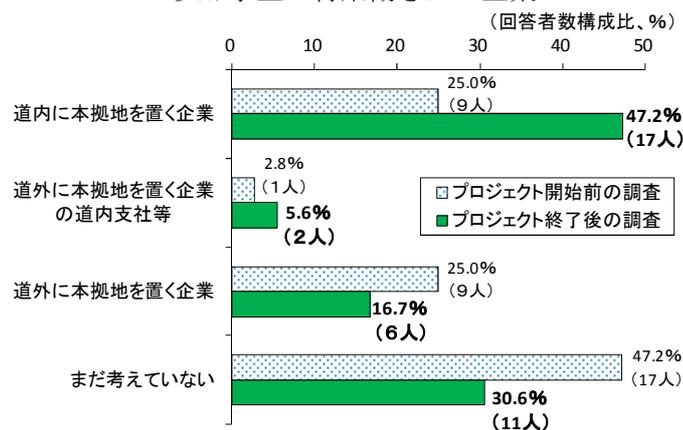
※ DCMホームマックのアイデア採用に関しては、下記のアドレスより、同社ニュースリリース（2018年11月15日付『DCMホームマック西岡店にて「ベンベンカフェ」道内初出店のお知らせ』）をご参照願います。

[http://www.homac.co.jp/files/user/topics/20181115\\_n.pdf](http://www.homac.co.jp/files/user/topics/20181115_n.pdf)

### MIRAINCプロジェクトの満足度（学生）



### 参加学生が将来働きたい企業



### (開催の様子)



以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

北海道銀行 営業企画部 坂野・武藤 TEL 011-233-1147  
 広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005